

国立大学法人東京外国語大学

災害発生時の学生の心得

(安全確保のために)

平成23年4月

第1 災害（地震・火災・事故等）に対する基本事項

1 基本的心得

- (1) まず、身の安全を確保すること。
- (2) 周囲の状況や正しい情報を的確に把握し、冷静に行動すること。
- (3) 火災・事故等を発見した場合は、直ちに府中消防署及び大学管理室に通報すること。

2 学内の連絡先

- (1) 電話連絡（安否確認を含む。）

<24時間対応>

区 分	連 絡 先	担当部署
災害全般	042-330-5419	大学管理室

<就業中は下表でも可>

区 分	連 絡 先	担当部署
学生の事故	042-330-5177 (FAX 042-330-5424)	学生課
留学生の事故	042-330-5181	留学生課
教職員の事故	042-330-5127	人事労務室
構内の火災、電気・水道 等設備の異常等	042-330-5144	施設課
上記以外の事故・異常	042-330-5126	総務企画課

- (2) 安否に関する情報のメール連絡

連絡先メールアドレス anpi@tufs.ac.jp

(注1) 被災時に、大学が各学生に配布しているメールアドレス宛に、大学からの安全確認等のメールを送る場合があるので、当該メールを確認できるようにしておくこと。

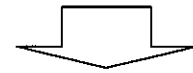
(注2) 予備として、個人が普段使っているメールアドレス（携帯メール可）を学生課に届け出ておくこと。

第2 災害（地震）発生時の対応

1 基本的対応

地震発生時

- 1 まず、身を守る！ (机の下などにもぐる。余裕がなければ、手近なもので頭を保護する。)
- ↓
- 2 すばやく火元の始末！ (火元、電気コンセントなどの処置をする。)
- ↓
- 3 非常口の確保！ (ドアを開ける。)
- ↓
- 4 火災、救急等の連絡！ (消防署に正確に通報する。)



地震直後

- 1 火元の確認！ (火が出たら、落ち着いて初期消火をする。)
- ↓
- 2 周囲の人の安全を確認！ (倒れた書庫等の下敷きや、けが人の確認をする。)
- ↓
- 3 作動中の電気器具を止める！ (スイッチを切る。)



地震収束後

- 1 隣接する部屋等で助け合う！ (他の部屋・教室等のけが人の確認をする。)
- ↓
- 2 その後の余震に注意！ (構内の避難場所に避難する。)



避難場所（屋外運動場）待機

2 具体的対応

(1) 学内にいたとき

状 況	安全を確保する行動例
講義室、演習室、研究室等で授業中の場合	直ちに出入口扉を開け、速やかに机の下等に身体（特に頭部）を隠す。 地震の揺れが収まったら、専攻語担当教員、ゼミ指導教員等の担当教員の指示に従うこと。
火気を使用中の場合	直ちに火を消すなどの安全措置を講じ、教室等の出入口扉を開け、速やかに机の下等に身体（特に頭部）を隠す。揺れが大きい場合は無理をせず、揺れが収まってから火を消すこと。
廊下を通行中の場合	壁の近くに身を寄せ、安全に注意する。
エレベーターの中の場合	最寄りの階に停止させ、すぐに降りること。
渡り廊下または階段を通行中の場合	速やかにそこから離れ、近くの安全な場所に退避する。
体育館にいる場合	壁に身を寄せ、落下物に注意する。
売店等にいる場合	物品及びガラス等の飛散に注意し、職員の指示に従う。
野外にいる場合	速やかに建物、高い壁、階段、送電線等から離れ、最寄りの幹線避難路で身の安全を守る。

(避難時の注意点)

- ① 倒れやすい物には近寄らないこと。
- ② 火災が発生したら、周囲の人に知らせ初期消火に努めること。
- ③ けが人が出たら救護に努めること。
- ④ 建物内からの避難は、周囲の状況をよく見て冷静に判断し、不用意に戸外に避難しないこと。
- ⑤ 避難場所（屋外運動場トラック内）へは、なるべく幹線道路を通り、避難場所での指示に従う。
- ⑥ エレベーターは使用しないこと。
- ⑥ 落ち着いたら、下記へ所在及び安否を連絡すること。
 - ・学生課
 - ・専攻語担当教員
 - ・ゼミ指導教員

(2) 学外にいたとき

まずは、その場で身の安全を確保すること。

落ち着いたら学生課、担当教員、指導教員のいずれかに所在及び安否を連絡すること。自身の安全や周囲の状況に応じて、救護活動に協力すること。

3 その他

- ・ 本人及び友人に関する知りうる安否等の情報を学生課等に連絡する。
- ・ 災害用伝言ダイヤル（171）を利用する。
(<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/images/manual.pdf>)
携帯電話各社により、携帯電話への緊急地震速報の配信が行われているので、NTTドコモ、au（KDDI）、ソフトバンク等のホームページを参考に設定する。
- ・ ツイッター等確信のもてない情報を鵜呑みにしないこと。
- ・ チェーンメール等は、必要な通信の邪魔になるため絶対に行わないこと。

2 災害（地震）発生時の学生（学部、大学院）対応フロー

